

国際看護研究会 NEWSLETTER No. 50

Japanese Society for International Nursing

2008. 8. 18 発行

本号の内容は以下のとおりです。

I. 運営委員会報告	p. 1
II. 第 49 回国際看護研究会報告	p. 1
III. 国際看護研究会第 11 回学術集会のお知らせ	p. 4
IV. 皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）	p. 5

I. 運営委員会報告

第 54 回運営委員会は 2008 年 6 月 15 日（土）に JICA 地球ひろばで開催された。第 11 回学術集会の準備状況が報告された。2007 年度決算案および 2008 年度予算案について協議し、修正することになった。また、事情により業務に対応できない運営委員が出ていることについての対応策を話し合った。今年度は運営委員選挙が予定されているが、残留委員について各係から原則として 1 名の計 4 名とすることです承された。第 12 回学術集会会長候補について協議した。HP の刷新について協議した。

国際看護研究会第 11 回学術集会

国際看護研究会第 11 回学術集会の演題募集は 7 月 11 日（金）に締め切られた。2 つのワークショップの準備も進行中である。今後査読委員会、および第 3 回準備委員会・第 1 回実行委員会の合同委員会が 7 月 26 日に開催される予定である。

II. 第 49 回国際看護研究会報告

第 49 回国際看護研究会は、伊藤尚子氏（群馬大学大学院 医学系研究科保健学専攻 博士前期課程国際看護学分野）にご講演いただきました。

【講演抄録】

フィジー国 地域保健看護師現任教育プロジェクトでの看護専門家としての活動

群馬大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

伊藤尚子

2007年7月1日より2008年3月31日まで、「JICA フィジー国地域保健看護師現任教育プロジェクト」において、“保健情報／職場研修”を指導分野とする専門家としてフィジーに赴任いたしました。その活動についてご報告いたします。

日本の積極的な太平洋島嶼国外交を展開する目的で、太平洋フロンティア外交の提唱など「太平洋・島サミット」が2000年4月宮崎で開催されました。2003年の沖縄での同サミットにおいて、より具体的に太平洋州への保健分野への支援が明記されました。その後、JICA 沖縄国際センターで計5回の島嶼地域保健行政研修コースが開かれ、その中で地域保健看護師活用とその人材開発への支援の要請があり、太平洋州では初めて、2004年にフィジーでのプロジェクトが企画されました。事前調査段階を経て、2005年4月から3年の期間でこのプロジェクトが始まりました。フィジーは中部、北部、東部、西部の4地方に分かれています。プロジェクトは中部をモデル地方として開始されました。プロジェクト開始後1年半で中間評価を受け、期待される成果やそのための活動、指標などが改定されました。中間評価後の枠組みで私は活動をするようになりました。中間評価後、改定された成果、活動、指標は以下のとおりです（プロジェクト開始時のものはニュースレター No.47をご覧ください）。

上位目標：中部地方において、地域保健看護師の行う地域保健活動の質が改善される

プロジェクト目標：中部地方において地域保健看護師活動の運営が現任教育により改善される

期待される成果：

1. 地域保健看護師の能力の基準と機能が定められる
2. 地区指導者の現任教育に関する運営管理能力が向上する
3. 地区における地域看護師の現任教育が機能する（変更なし）
4. プロジェクトの成果が他地方および他国に紹介される

指標：

1. 2007年11月までに以下が保健省に公認される。

能力基準票

地域看護記録ハンドブックと標準化された記録物

- 2-1. 地方トレーニング委員会の承認を得た現任教育指導者研修の実施回数
- 2-2. 指導者研修への参加者の評価
- 2-3. 参加者の理解度
- 2-4. 指導者研修の参加率
- 2-5. 各地区の年間現任教育計画
- 2-6. 課題別の現任教育計画
- 3-1. 現任教育の実施が明記された地区別年間計画
- 3-2. 現任教育の実施回数、参加者数または参加率
- 3-3. 現任教育の地区による実施支援回数
- 3-4. 現任教育の各地区指導者による実施報告書の数
- 3-5. 現任教育タスクフォース会議の回数
- 3-6. 現任教育用配布教材の種類、数量

- 4-1. 保健省への報告書数
- 4-2. 会議などでの発表数
- 4-3. セミナー／ワークショップの開催数、参加者数
- 4-4. ニュースレターの配布部数

活動：

- 1-1. 地域保健看護師、地域看護主査等の業務基準の見直しを行う
- 1-2. 地域保健看護師に求められる経験年数別能力基準表を作成する
- 1-3. 地域保健看護ハンドブックを作成し配布する
- 2-1. 各地区に現任教育タスクフォースを設置する
- 2-2. 地区の指導者研修を開催する
- 2-3. 各地区の現任教育の優先分野を明確にする
- 2-4. 各地区において地域保健看護師を対象とした現任教育年間計画を作成する
- 3-1. 各地区の現任教育タスクフォースが地域保健看護師に月例現任教育を実施する
- 3-2. 現場での個人指導を行う
- 3-3. 各地区の現任教育のモニタリングを行う
- 3-4. 現任教育に関する教材を作成し、配布する
- 4-1. 報告書を作成する
- 4-2. 成果を学会等で発表する
- 4-3. プロジェクトモデルを広めるために他地域、大洋州の関係者を対象としたセミナー／ワークショップを開催する

上記の目標や成果達成のために残された 9 ヶ月間で以下の活動を行いました。

- 1. 承認済み版能力基準表の説明（研修）、活用状況の把握・分析と関係する支援
- 2. 記録フォーマットと承認済み版ハンドブックの説明（研修）、活用状況の把握・分析と関係する支援
- 3. 月例報告書情報分析フォーマットの活用把握とフォローアップ
- 4. 看護指導者研修開催
- 5. 現任教育に関する教材の開発
- 6. 地区現任教育の運営基準作成
- 7. 看護指導者による現任教育の支援、および彼女たちによる地域保健看護師へのフォローアップの支援
- 8. 看護指導者による現任教育実施報告書作成および次年度現任教育研修計画書作成の支援
- 9. 他地方・他国（サモア、ソロモン、トンガ、バヌアツ）へのプロジェクト紹介

2008 年 2 月の終了時評価では、成果達成という評価がなされましたが、以降はフィジー側の自立発展性が重要になってきます。そこで、最後の中東部保健局との合同委員会では以下のことを提言しました。

<技術面>

- ・看護指導者による『能力基準表』にあるチェックリストの適切な活用による地域保健看護師の査定
- ・看護指導者による『能力基準表』を用いての現任教育のニーズ判断の確認とさらなる強化
- ・地域保健看護師の「分析フォーマット」を用いての地域の健康ニーズ判断と優先順位の明確化に関連した指導のさらなる充実
- ・看護指導者による地域保健看護師への個別指導の充実
- ・現任教育調整官の業務基準の作成(看護指導者への支援システムの構築)
- ・新任看護指導者へのオリエンテーションと内容の充実化
- ・看護指導者交代時の引継ぎの義務化
- ・全地域保健看護師の研修参加についての機会均等化

<制度・組織面>

- ・保健省における看護分野での現任教育調整官ポストの恒久化
- ・現任教育システムの全国展開のために各地方における現任教育調整官の配置
- ・看護指導者への進学の推進
- ・確定した看護指導者の増数(代理職の減数)

<財政面>

- ・トレーニング委員会からの十分な看護分野における予算案の確保
- ・地域保健看護師の活動費の迅速な支払い

提言のひとつひとつに対し、フィジー側から具体的に取り組む内容を回答してもらうことができました。このプロジェクトを通し、現任教育が重要で継続させていかなければならないものであるという認識がフィジーに根付いたと思えました。これまでフィジーの看護職の熱意と誠実さ、向上心があったからでしょう。今後このプロジェクトが全国展開される予定があるということで、とても頼もしく、楽しみにしています。

Ⅲ. 国際看護研究会第 11 回学術集会のお知らせ

この度、独立行政法人国際協力機構（JICA）地球ひろばにおいて、国際看護研究会第 11 回学術集会（第 50 回国際看護研究会）を開催いたします。

国際看護研究会は今年度で 13 年目を迎え、学術集会は本年で 11 回目となりました。

今回のメインテーマは、「世界で活躍する看護師の資質」です。基調講演を踏まえて 2 つのワークショップを企画し、実践に基づく具体的な話題の提供をお願いしました。また魅力ある一般演題を 24 件、ご応募いただきました。本学会は、会員の皆様が直接、体験を語り合ったり、意見交換したり出来る貴重な場です。国際看護の実践あるいは国際看護学の教育に

携わる看護職や、看護の国際的な活動に関心のある学生の方々との有意義な意見交換の場になりますことを期待しております。会員の皆様の積極的なご参加を心からお待ちしております。

日時：2008 年 9 月 20 日（土）9:30～17:00

会場：独立行政法人国際協力機構（JICA）地球ひろば（東京都渋谷区広尾 4－2－24 地下鉄日比谷線「広尾」下車徒歩 3 分）

【プログラム】

☆基調講演「世界で活躍する看護師の資質」（第 11 回学術集会会長 大野 夏代：札幌市立大学）

☆ワークショップ 1 「『国際看護学』で学ばせたいもの（看護基礎教育課程）」

☆ワークショップ 2 「私が考える国際看護活動に必要なもの」

（参加費）会員 2500 円（早割り参加費 2000 円：8 月 22 日までに振込みの場合）

非会員 3500 円

＊当日参加も可能ですが、会員の皆様は 8 月 22 日までに振り込んでいただけますと、2000 円で参加できます。会員の皆様に集っていただける、研究会最大の活動です。是非、ご参加ください。口座番号：02780-7-78842 口座名称：国際看護研究会第 11 回学術集会準備委員会

IV. 皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）

1. 研究会の活動は、会員の納める会費により行っております。平成 20 年度の会費をお支払いいただきますよう、お願い申し上げます。平成 19 年度の会費が未納の方につきましては、退会手続きをいたします。継続をご希望の場合は、至急、お支払いくださいますよう、お願いします。また、会費未納のまま退会された場合、再入会の際には、未納の分もお支払いいただいておりますので、ご了承ください。

本年度は運営委員改選の年です。納入年度は封筒の宛名の右下に会員番号とともに記載されています。また、事務整理の都合上、振込用紙に会員番号もご記入をお願いします。

郵便振込先：00150-6-121478 国際看護研究会

2. 国内外に転居された方もいらっしゃるかと思います。転居された方は研究会事務局に新住所をご連絡下さい。海外にも NEWSLETTER をお送りしています。

3. NEWSLETTER の「海外情報」に掲載する記事を募集しております。会員の皆様の活動報

告、活動国の様子、医療事情、あるいは旅行記など海外に関する情報をお待ちしております。事務局までお送り下さい。

4. 会員の皆様からのご意見を反映して研究会の活動の更なる改善を図りたいと思います。講演会のテーマ、NEWSLETTER についてなど、本研究会へのご意見をお聞かせ下さい。

5. 第 10 回学術集会抄録の残部があります。ご希望の方はその旨明記の上、抄録代として 500 円、郵送代として 80 円の合計 580 円分の切手（80 円までの小額でお願いします）と返送先を書いた A 4 サイズ用の返信用封筒を事務局までお送り下さい。

6. 国際看護研究会 10 周年記念誌の残部があります。購入希望の会員の方は 1500 円、非会員の方は 1800 円を国際看護研究会口座にお振込みください。

郵便振込先：00150-6-121478 国際看護研究会

国際看護研究会連絡先（事務局）／NEWSLETTER 発行元

E-mail : kokusaikango@iris.ocn.ne.jp

URL : <http://www15.ocn.ne.jp/~jsin/>

年会費振込先：国際看護研究会 口座番号 00150-6-121478

※ニュースレターの記事に関して無断転載を禁じます。

皆様のご理解をお願いいたします。